

学習内容報告書 フォーマット

学校名	能登町立松波小学校
授業者	小高井 知美, 瀬戸 貴之, 和嶋 陽一, 坂井 由美子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「身近な海に親しもう」～釣り体験を通して～

1-2. 学年

3年, 4年, 5年

1-3. 教科 (単元を実施する教科を全てお書きください)

総合的な学習の時間 (遠足)

1-4. 単元の概要

校区の周りの「赤崎海岸」「九十九湾」の生きものに親しみをもち、生きものにも生命があることに気付くことができるようにする。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

生き物と触れ合う活動を通して、命の尊さに気付くとともに、身近な海の恵みに気付く。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

生き物に心を寄せ、愛着をもって接するとともに、生命あるものとして生命尊重の態度を育てる。

1-7. 単元の展開（全 時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
遠 足	<ul style="list-style-type: none"> ・釣りをするときの注意を確認する。 ・魚釣りをする。 	外部連携：「能登少年自然の家」 身近な生き物に関心をもち、その生き物に関わろう としている。【態】

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ


単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

身近な海の生き物に親しむ。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 活動にあたっての確認をする。</p> <p>2. 活動をする。</p> <p>・1 時間ほどで、5 匹の魚を釣り上げる子もいた。また、魚を釣ることができなかった子も、エサに寄って来るたくさんの魚たちを見ることができた。海水の透明度の高さと魚の多さに驚いていた。</p> 	<p>・「能登少年自然の家」の方から、エサのアオムシの付け方や周辺でよく釣れる魚の種類などを教えてもらう。</p>

3. 今回の活動の自己評価

- ・魚釣りをして、身近な海に親しみ、その美しさに気づくことができた。

4. 今後の課題

- ・屋外での体験活動は、天候に左右されることがあり、釣り場を変更した。
- ・学校行事（遠足）が単発的になった。今後総合的な学習の時間との関連を意識していく。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・活動が厳選されたが、今回は秋に遠足として釣り体験をすることができてよかった。

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝，10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm，左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。